

シリーズ
ムチューザント美郷中

技術の向上と、心身の成長！
『女子卓球部』 詳細は14ページ



よさこ

議会だより



議会トップページへ

発行：秋田県美郷町議会
編集：議会広報常任委員会

2ページ

令和5年度決算を認定

11ページ

議会基本条例のあらまし

12ページ

教育民生委、先進地を視察



共同送迎サービスを見学

令和
5年度

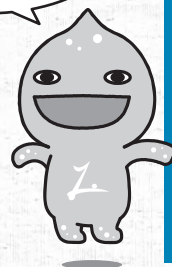
決算を認定

令和5年度の各会計の決算を審査し、認定しました。財政状況を表す経常収支比率は0・2ポイント改善し81・9%と、良好な水準を維持しています。

会計名		歳入	歳出
一般会計		136億3914万円	128億9465万円
特別会計	国民健康保険	21億1713万円	20億3316万円
	下水道事業	3億5993万円	3億5446万円
	農業集落排水事業	1億7770万円	1億7322万円
	後期高齢者医療	2億3531万円	2億3489万円

会計名	区分	収入	支出
水道事業会計	収益的収支(税抜)	3億6041万円	3億5693万円
	資本的収支(税込)	1億6713万円	3億2821万円

財政状況は良好だね!



決算審査

決算特別委員会では39項目について質疑がありました。主な内容を要約してお伝えします。

一般会計 歳入

町税

問 個人町民税の内容は。

答 所得の85%を占める給与所得が2億6700万増の176億4500万円と好調だが、農業所得などが減収した結果、全体では1億4500万円増の207億6000万円だった。



決算特別委員会

使用料

問 学友館の入館料収入が前年度より減少している要因は。

答 令和4年度開催の「大川清一展」が通常の3倍の入館者数があったためで、令和5年度は平年並みの入館料収入だった。

一般会計 歳出

広報広聴充実事業

問 町民から意見・要望を聴取した後の対応は。

答 はがき、電話、メール等で96件のご意見をいただいた。そのうち記名等があり、回答が可能な65件については回答済みである。

美郷暮らし促進奨励金事業

問 奨励金交付とサポート事業の内訳は。

答 65件の奨励金交付の内訳は、新築が47件、増築が5件、リフォームが9件、空き家購入が4件。町外からの転入は10件。
サポート事業としては、奨励金に関する相談が93件、空き家情報が43件、移住相談が25件となっている。



子育て支援金（出生児がひとりの場合）

出産応援金（国）	5万円
出生祝金（町）	5万円
子育て応援金（国）	5万円
出産おめでとう給付金（県）	2万円
合 計	17万円

子育て支援事業

問 妊娠・出産に対してのさまざまな支援金があるが、総額は。

答 次の表のとおり。

シニア元氣いきいき支援事業

問 共通利用券の給付にしたこと、また交通費の助成を新設したことの効果は。

答 「使い勝手が良くなった」との声があり、大幅に伸びた。交通費助成の実績は140万円だった。

プラスチックごみ回収事業

問 本格実施に向けた課題は。

答 試験回収後にアンケートを行った。この取り組みについて「良い」が72%だったが、説明チラシの理解度が48%と低かった。



プラスチックゴミ回収試験袋

鳥獣被害対策事業

問 実施隊員は危険を伴うが、報酬の内容は。

答 報酬は年額2万7000円で、費用弁償として日額2900円を実働に応じて支給している。隊員数は26人。

指定管理委託事業

問 町内宿泊施設の客室稼働率と向上策は。

答 千畑温泉サン・アールは26・4%、六郷温泉あったか山は41・5%、宿泊交流館ワクアスは60・2%。

千畑温泉サン・アールについては、利用者ニーズを捉え、宿泊メニューや料理などの充実を図り、客室稼働率の向上につなげたい。

監査委員による審査意見（一部抜粋）

各会計の決算書、明細書、調書は、関係法令に準拠して作成されており、正確であると認められた。まちづくりの基本理念に基づき各種事業が順調に推進されている。

また、財政健全化に向けた取り組みや町債の繰上償還の実施など、今後も堅実な財政運営を続けてほしい。



監査委員による審査

討論

一般会計決算認定

反対 泉美和子議員 令和5年度予算はマイナンバーカード推進予算が含まれているため反対した。その予算が執行された決算認定にも反対する。

賛成

熊谷隆一議員 予算は適切に執行されている。歳入は、町税の収入未済額が減少している。歳出は、子ども子育て支援拠点の整備事業にも着手し、住民満足度の高い行政運営を推進している。継続的に財政健全化に取り組んでおり、経常収支比率は良好で、堅実な財政運営が行われている。

補聴器購入に一部助成

9月定例会

9月3日から11日間の日程で9月定例会を開きました。補正予算7件、条例改正など7件、人事1件、陳情2件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

補正額の大きなものは、町道舗装補修等の1億3080万円、繰上償還元金の4億5071万円です。

令和6年度補正予算

会計名	補正総額	補正後累計
一般会計	8億4411万円	130億6764万円
国民健康保険特別会計	240万円	21億8513万円
下水道事業特別会計	1837万円	2億5890万円
農業集落排水事業特別会計	220万円	1億7489万円
後期高齢者医療特別会計	41万円	2億5604万円
水道事業会計 収益的支出	32万円	3億8966万円

一般会計補正予算(主な事業)

自立支援給付事業

軽度・中等度難聴者の補聴器購入費用の一部助成(20人分 総額100万円)

まちの声



高橋 悦央さん
(荒町)

●補聴器の購入補助に感謝
補聴器は片耳だけで15万円もするので、購入の補助は助かります。耳が遠いとは話しづらくなり、家にもりがちになります。補聴器をつけたら、会合などにも積極的に参加したいと思っています。

窓用軟骨伝導イヤホンの購入

”生葉の里美郷”構想推進事業

キキヨウ用定植機の導入費用の全額助成

農業経営等復旧・継続支援対策

7月の大雨による水稲、大豆、園芸作物等の営農継続費用の一部助成

仏沢公園遊歩道の復旧

小安門住宅、野荒町住宅の老朽化による改修

芸術文化推進事業

野外芸術空間創出の彫刻等創作経費

登録有形文化財「関田円型分水工」の看板等製作

旧カントリパーク法面復旧の調査設計業務

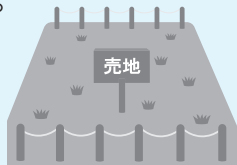
湯とぴあ雁の里温泉の飲料水井戸水中ポンプの取替

スミズミ Q A

環境配慮型美郷暮らし整備事業

Q 旧わくわく園跡地の宅地開発のスケジュールは。

A 現在、造成計画の詳細を詰めている。令和7年度に造成工事の予算を計上する予定。



人事

〔人権擁護委員〕

次の方の推薦を可決しました。（再任）

■齊藤 敦子氏（大坂）

条例（主なもの）

・美郷町国民健康保険条例の一部改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行による

反対討論（泉美和子議員）

マイナ保険証への切り替えを前提としたもので、個人情報漏洩など危惧されるので反対する。

・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

問 団員数と充足率は。分団の再編成は考えているか。

答 団員数は295名で、充足率は81・9％。再編成は、検討すべき課題と捉えている。

陳情

採択

（関係機関に意見書を提出）

○地方財政の充実・強化を求める意見書に関する陳情

○ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情

臨時会（令和6年7月12日）

議案2件を審議し、全員賛成で可決しました。

一般会計に262万6千円を追加し、総額122億2353万4千円としました。主な事業は民営水道水質対策費、有害鳥獣等駆除防除事業。

問 有害鳥獣を誘引する樹木の伐採への補助について、伐採費と処分費を分けた理由は。

答 樹木が植栽されている場所や環境によっては、敷地外に運搬して処分することも想定されるため。

問 伐採が想定した50本を超えた場合、再度、補正予算とするのか。

答 申請状況を踏まえて検討したい。

臨時会（令和6年9月24日）

議案4件を審議し、全員賛成で可決しました。

○財産の取得の追認

令和5年度に購入した「除雪機械用消耗品」「教師用指導書等」を議会の承認を経ず契約を締結したため。

○一般会計補正予算

一般会計に428万7千円を追加し、総額を130億7193万6千円としました。

主な事業は、水道水から有機フッ素化合物が検出された仙南地区で教育施設の飲用や給食に利用される水栓に浄水器を設置する費用や、消防団員募集ポスター印刷費など。

○水道事業会計補正予算

仙南中央の水道加入者の浄水器設置に対する補助50件。

一般質問

9月12日の本会議では、7人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

質問者

議員 義一 議員 薫 議員 均
 議員 正洋 議員 邦武 議員 幸子
 議員 美和子

- ◇改選に向けた考えは
- ◇教職員のストレス対策について
- ◇ヘルプマークの認知拡大について
- ◇乗合タクシーの自宅前乗車について
- ◇地方就職学生支援事業について
- ◇リリオスのエアコン設備について
- ◇防災情報の音声による伝達について
- ◇豊かな心と人材を育てるまちづくりについて
- ◇予約制乗合タクシーの乗降所について
- ◇災害応急対策の「福祉的な支援」の取り組みについて
- ◇自衛隊への個人情報提供について
- ◇学校給食費の無償化を

一般質問とは？ 年4回の議会定例会で行われる、議員主導の行財政全般にわたる政策論議です。

議員 町は今年20周年という節目を迎えた。
 これまでの歩みは、時代に即した確かな足跡を残してきたところである。
 企業誘致や連携協定など町の活性化につながる取り組みや、財政面における町債の大幅な削減、基金の積み増しなど、安定した行財政運営を進めてきた。その成果は町長のリーダーシップによるものが大きいと考えている。
 町長の描く町の将来像、そして改選に向けた考えは。

答 引き続き牽引役を目指す

問 改選に向けた考えは



議員 義一 議員 深沢

町長 民間企業の調査結果において「街の住み心地」や「街の幸福度」が県内トップクラスに位置するなど、目指す姿に少しずつ近づいてきているものと認識している。
 住む満足感、幸せ感がさらに膨らむ町になることが、私の考える町の将来像である。
 今後も社会環境の変化に伴う諸課題に適切に対応しながら、特徴のある町づくりを展開していくことが必要と考えている。
 熟慮を重ね、引き続き町政の牽引役として頑張りたい決意を固めた。



問 教職員のストレスへの対策を

答 業務量を適切に管理する

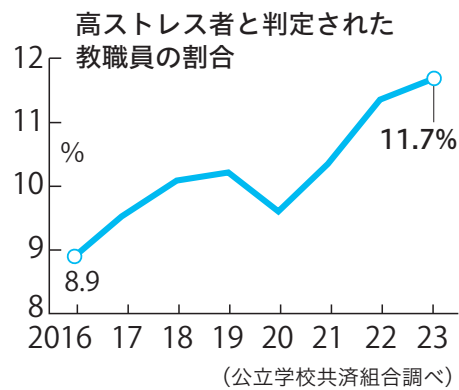
議員 美郷中学校教職員の家族から「業務量が多く学校や家で夜遅くまで仕事をしており精神的ストレスが心配」と話があった。町の改善策は。

また、普通学級に特別支援の必要な生徒が増えていることへの対策は。

教育長 「教職員の働き方改革推進計画」を踏まえて教員の業務量を適切に管理していく。教員のストレスチェックを行い健康保持に努める。

近年、特別支援が必要な児童、生徒の数は増える傾向にある。町

では学校生活支援員を小・中学校に配置し、教員の負担軽減を図っている。



ヘルプマークの認知拡大を

議員 障害者などへ配布しているヘルプマークの認知拡大のため、学校教育の場でも取り組みを。

教育長 福祉の学習や、認知症の方の理解と見守りのため実施されている「認知症キッズサポーター養成講座」などの際、ヘルプマークについて取り上げてもらうよう働きかけていく。



問 乗合タクシーの自宅前乗降を

答 地域協議会で協議していく

議員 行政視察を行った多くの自治体では、乗合タクシーに自宅前から乗降できるようになっている。町でも実現できないか。

町長 乗合タクシーについては、福祉サービスとして移動手段の確保を実現しつつ、制度構築してきたい。

自宅前乗降については、地域交通事業者と意見交換を行うとともに、各方面で制度改正の整理がつくようであれば、美郷町地域公共交通活性化再生協議会に諮り、協議していく。

リリオスにエアコンの設置を

議員 夏の異常な暑さの中、リリオスにエアコン設置を期待する多くの声がある。町の考えは。

町長 近年の夏の暑さには十分注意を払う必要があると考えている。体調不良を回避するため、必要時にはスポットクーラーの設置や、既設のエアコン冷気が流入するようアリーナドアの開放を行う。引き続き適切な休息、水分補給などについて周知していく。

【他の質問】「地方就職学生支援事業」



乗合タクシーパンフレット



問 緊急告知FMラジオを使い続けるのか

答 新たなシステムの選択と併せて検討

【議員】 全県を放送エリアとするエフエム秋田が、緊急告知FMラジオを使い地域を限定した放送をすることは難しい。当町には防災行政無線があり、防災メールや町公式LINEへの登録も進んでいる。緊急告知FMラジオの使用は止めて、その分の経費を防災行政無線の能力向上に充てた方が良策ではないか。

【町長】 緊急告知FMラジオは、平成28年度から配布を始め、7年が経過している。機器の

耐用年数は4年で、全世帯分を更新するには約1億円かかる。テレビのデータ放送を活用したシステムなど、新たな情報伝達手段の選択を検討する際、緊急告知FMラジオの使用継続も検討したい。



緊急告知FMラジオ

防災行政無線を聞きやすく

【議員】 防災行政無線の放送を家中で聞ける「戸別受信機」を導入してどうか。また、最近では防災行政無線のスピーカーに、音が遠くまで届く「ホーンアレイ式」を導入する自治体が増えている。導入の検討を進めてほしい。

【町長】 戸別受信機は1台約5万円で、場合によってはアンテナ設置費用が別途5万円ほどかかる。現在のところ、導入は考えていない。また、ホーンアレイ式のスピーカーは重量が重く、支柱の強度が不足しているとなれば建て替えが必要となる。導入にはどういう課題があるのか、調査検討をしたい。

【他の質問】「緊急告知放送の利用実績」「ラジオ機器の管理と追加購入の必要性」「火災情報の放送」



問 中央公園に彫刻設置の周知を

答 令和6年度から6年かけて進める

【議員】 野外において芸術に親しみ、癒やされ、楽しめる空間を創出するため、中央公園エリアに彫刻等の作品を設置する計画について、町民に対する周知を含め、どのように事業を進めるのか。

【町長】 令和6年2月に第1期基本計画を策定し、令和11年度までの6年間にわたり、1基500万円以内の制作費で7基設置する。町民への周知は、施政方針を通じて伝えるとともに、町ホームページに掲載した。

作品は毎年度、制作候補者を選定し、選考の上で決めていく。

関田円型分水工の活用を

【議員】 関田円型分水工は町内で初めて国の文化財に指定される見通しとなり、施設案内板やリーフレットの補正予算が計上されたが、文化振興や誘客促進に向けた活用に取り組むべきではないか。

【教育長】 広報やホームページで周知を図り、町内設置の大型看板に文化財登録を明記するほか、分水工までの案内看板の点検を行い、追加設置を検討するとともに、見学者用バスは六郷東根コミュニティセンターの駐車場を活用する。

華美な観光施設ではなく、昭和初期の農業用水施設として、現状の景観のまま、保存・活用していく。



関田円型分水工

【他の質問】「町教育大綱の推進状況」「ふるさと美郷は宝箱」の活用」「六郷高校の協議会新設」



はせがわ ゆきこ 議員
長谷川 幸子

問
乗合タクシーの乗降所を自宅前に

答
地域協議会で協議していく

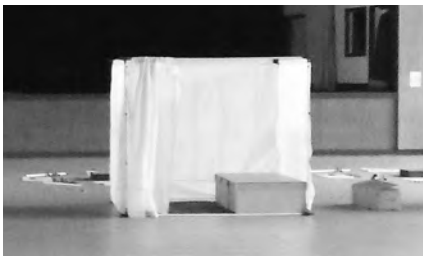
議員 乗合タクシーは利用者宅から乗降所までの距離が最長で400メートルと定められている。利便性や安全性を考え、乗降所を自宅前にできないか。

町長 利用者の寒暑時の安全性の指摘も踏まえ、今後、交通事業者と意見交換を行うとともに、公金を支出する乗合タクシーがどうあることが望ましいか改めて検討する。各方面で制度改正の整理がつくようであれば、美郷町地域公共交通活性化再生協議会に諮り、協議していく。

災害応急対策の福祉的な支援は

議員 国は令和6年6月、防災基本計画を修正し、災害応急対策に福祉的な支援の必要性を明記した。具体的には、スフィア基準（避難所の国際基準）も踏まえて、①間仕切りや段ボールベッドの設置、②栄養バランスのとれた食事、③生活に必要な水の確保、④トイレトレーラーの配置、などである。今後の町の取り組みは。

町長 災害に対する備えは県の基準を踏まえて適正に整えている。トイレトレーラーの配置は取得経費のほか、維持管理に相応の負担があるため考えていない。改めてスフィア基準を踏まえた状況について確認し、充分でない場合は見直していく。



間仕切りと段ボールベッド



いずみ みわこ 議員
泉 美和子

問
自衛隊への個人情報提供は中止を

答
法的には問題ない

議員 町では、自衛隊法を根拠として、募集対象者情報（募集対象年齢となる住民の氏名・住所・生年月日・性別）を自衛隊に書類で提出しているが、この法律は、資料提出を求めることができるだけでなく名簿提出の根拠にならなといったの見解を、多くの弁護士や学者が表明している。

町長 プライバシー権を保障した憲法に基づく個人の尊厳を守る立場からも、自衛隊への個人情報の提供はやめるべきではないか。

議員 自衛隊法施行令に基づく個人情報提供は、個人情報保護法

に規定される「法令に基づく場合」に該当するとの見解が、国の個人情報保護委員会より示されており、根拠に基づき行っている事務なので、問題ないものと認識している。

令和5年度より、募集対象者が情報提供の除外を希望する場合は、本人の申請により除外措置をとる旨を町ホームページにて周知している。

学校給食費の無償化を

議員 物価高騰が家計を直撃している今こそ、町でも学校給食費の無償化に踏み出すべきではないか。

また、国と県に対し、無償化の実現に向けた制度の構築を早急に行うよう求めていくべきではないか。

町長 現段階では、およそ7千万円分の給食費を町が担う判断までには至っていない。今後の国の動きを注視するとともに、国の対応方針決定に時間を要すると見込まれる場合は、県市町村会等を通じて、要望を検討していく。

◎活力ある地域づくり事業の活用状況は 《企画財政課》

町の活力や地域力の低下が懸念されているため、地域づくり活動に支援を継続していくことが必要である。

説 明

●行政区や町内会等の自治組織

対象経費	補助額
活力ある地域づくりのために 行う事業	当該経費の3分の2に該当する 額以内の額で、上限30万円。
地域の課題解決のために 行う事業	【交付が4回以上】 当該経費の2分の1に相当する 額以内の額で上限20万円。 【交付が7回以上】 当該経費の3分の1に相当する 額以内の額で、上限10万円。
地域の伝統行事の保存及 び継承のために行う事業	当該経費の2分の1に相当する 額以内で、上限5万円。

●会則等の定めのあるボランティア団体や住民活動団体

対象経費	補助額
ボランティア団体及び住 民活動団体が行う事業で 町長が認めたもの	当該経費の3分の2に該当する 額以内の額で、上限30万円。 【交付が4回以上】 当該経費の2分の1に相当する 額以内の額で上限20万円。 【交付が7回以上】 当該経費の3分の1に相当する 額以内の額で、上限10万円。

●令和5年度交付実績

- ①一丈木自治会(地域活動、夏祭りなど)
- ②関田会(花壇整備)
- ③湧太郎まつり実行委員会(イベント)
- ④万願寺行政区(盆踊り)
- ⑤後三年秋の陣in金澤実行委員会(イベント)
- ⑥上畑屋部落会(グラウンドゴルフ大会)
- ⑦美郷ジャズオーケストラ(コンサート)
- ⑧茨島青年部(梵天奉納)
- ⑨安城寺自治会(天筆、雪まつり)



安城寺雪まつり

町への意見

地域の活性化のためには有効な事業と考える。

これまで交付した具体例を示したチラシ等を配布するなど、周知をさらに強化してほしい。

◎危険空家の対応状況は 《住民生活課》

危険空家は建物からの飛散物による停電や雪による倒壊、落雪による歩行者への危険など深刻な事態が想定されるため、適切な管理や早急な解体の促進等が必要である。

説 明

●町が把握する空家の棟数

(単位：件) 基準日：年度末日

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
棟数	257	254	249	249	244	235	226	221	222	216	208
危険空家							23	23	28	29	31
うち特定空家											8

※特定空家とは、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険な空家など。

●これまでの利用実績

(単位：件、千円) 基準日：年度末日

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件数	3	2	7	5	2	8	4	4	2	21	17	
補助上限	300					500		800	1,000			800
決算額	900	600	1,713	1,310	600	3,664	1,900	1,900	1,385	18,322	15,512	

町への意見

個別の対応方針や優先順位を定め、最終的には行政代執行を視野に入れて、減少に努めてほしい。

特定空家を解消するには財政の問題が大きく、支援策を国に要望することも大事だ。

美郷町議会 基本条例の 概略(あらまし)

令 和6年7月1日から施行されている美郷町議会基本条例は、全19条で構成されており、条文等の理解を深めるため、3回にわたり説明を行います。
(第1回は前文～第4条)

【前文】条例の制定趣旨や基本原則を述べるもの

- ◇美郷町⇒奥羽山脈のすそ野、仙北平野に広がる田園風景と湧き水、秋田の豪雪地。
- ◇町議会⇒豊かな自然、歴史、文化とともに生きる美郷町民の健康で幸せな暮らしと、町の発展を目指す。また、町民の信頼と負託に応えていくことを決意します。



町の風景

【第1条】 目 的

- ①二元代表制の下、合議制の機関である議会の役割を明らかにすること。
 - ②町民の負託に的確に応え、町民福祉の向上と公正で民主的な町政の発展に寄与すること。
- ◆目的達成のため、議員の任期開始後、全員に条例の内容を周知徹底します。

【第2条】 議会の活動原則

- ①町長等による町政運営が適切に行われているかを監視すること。
※町長等⇒町長、教育委員会、選挙管理委員会、農業委員会、監査委員など。
- ②公正性・透明性を確保し、町民に分かりやすい議会活動を行うこと。

対等な関係にあるんだね



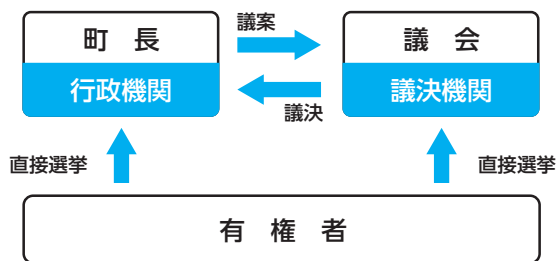
【第3条】 議員の活動原則

- ①議員間の自由な討議を重んじること。
 - ②町民の意見を的確に把握し、諸課題の調査研究・解決に努めること。
 - ③自らの資質向上に努め、研さんを積むこと。
 - ④町民全体の福祉の向上を目指して活動すること。
- ◆町が主催する公的行事等に出席し、二元代表制の下で議員の職責を果たします。

【第4条】 町長等と議会の関係

- 町長等と常に緊張ある関係を保ち、議論を尽くし、議事機関としての役割を果たしていく。
- ◆執行権を有する町長と議決権を有する議会は、自治体運営の車の両輪として、対等な関係にあります。

二元代表制とは



「美郷町議会を語る会～議会基本条例の解説～」を、11月21日(木)午後2時から中央ふれあい館で開催します。ご参加をお待ちしています。

岡山県
みさと町
美咲町

賢く収縮するまちづくり

岡山県の中央部、中山間地域にある美咲町。消滅可能性自治体から脱却した町として、注目されています。

人口減少はさけられないが、町民が明るく笑顔で暮らすことはできる——「賢く収縮するまちづくり」を合言葉に、さまざまな施策を展開しています。子育て支援策の中には、「水道基本料金助成」という珍しい制度もありました。義務教育学校は2つあり、英語教育に力を入れる学園、地域とのつながりを重視する学園、それぞれ差異化が図られていました。

地域づくりでは「小規模多機能自治組織」を推進しています。これまでの81自治会が、13の運営組織に再編されました。地域のことを自ら考えて主体的に活動する組織へと、成長を続けています。

「にぎやかな過疎」を目指して活動する「倭文西（しとりにし）まちづくり協議会」は、小規模多機能自治組織のトップ



見守り活動に使う黄旗

ランナーです。中学生以上の全員にアンケートを取り、地域の課題を把握することからスタートしました。見守りや空き家対策などの活動に、楽しみながら取り組んでいます。

「地域の活力は人『交』密度（人づきあいの高さ）によって決まる」という一言が、印象に残りました。

課題解決の
先進地を視察

教育民生常任委員会

8月5日から7日にかけて、教育民生常任委員会に所属する議員7人（1人欠席）が行政視察研修を行いました。

訪問した3市町は、課題解決に取り組む先進地として全国的に知られています。学びの成果を美郷町の施策へ反映させることを目的に、視察先を選定しました。



美咲町にて

自治体名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
岡山県美咲町	12,845	5,911	232.17
岡山県奈義町	5,735	2,538	69.52
香川県三豊市	61,407	26,387	222.69
秋田県美郷町	17,831	6,612	168.32

住民基本台帳（総務省・令和6年1月1日）、全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院・令和6年4月1日）より

秋田県町村議会広報研修会

令和6年7月19日

「住民に読まれ、伝わり、議会の見える化へ」

講師：芳野 政明氏（広報コンサルタント）

「みさと議会だより」の紙面クリニックでは、次の点を評価いただきました。

- ・定例会終了1カ月後の早期発行は立派
- ・住民登場の企画が多彩
- ・一般質問などの議事公開も良い

秋田県町村議会議員研修会

令和6年7月19日

「今後の政局・政治展望」

講師：岩井 泰信氏（日本大学名誉教授）

混迷する政治情勢について学びました。

「地方が取り組む“防災DX”について」

講師：永田 尚三氏（関西大学社会安全学部教授）

各種資源配分を最適化する方策として、防災DX（デジタルトランスフォーメーション）体制の構築が必要であることを学びました。

通所介護の送迎を共同化

香川県
三豊市

通所介護事業所（デイサービス）の共同送迎に、三豊市は全国で初めて取り組みました。

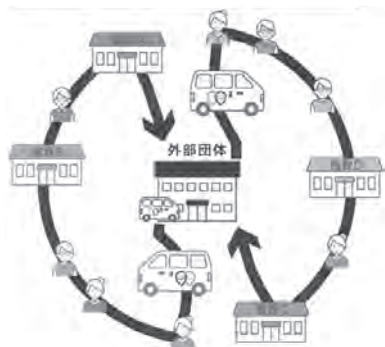
各施設が単独で行っていた送迎業務を集約し、外部の団体に運行を委託します。送迎車は地域内を回り、利用者を乗せて各施設に送り届けます。施設側としては、送迎業務に従事する人員を確保しなくてもよくなります。

共同送迎は、市が事業企画を進め、社会福祉協議会が事業主体となりました。福祉有償運送の制度を活用しており、一般のドライバーが白ナンバー車両で運行しています。

事業を始めて見えてきた課題は、予想していたよりも参加施設が少なく、まだ採算が取れていないことです。送迎利用の料金収入が少ないため、現在は市からの補助金を補填しています。

今後は参加施設を増やし、将来は通院や買い物など福祉分野における移動サービスと重ねていく構想があります。

このまますぐ美郷町に移植できる事業ではありませんが、教育民生常任委員会で継続して取り組む研究テーマに設定しました。



共同送迎のイメージ

高い出生率の鍵は安心感

岡山県
奈義町

令和元年の合計特殊出生率が「2.95」まで回復した奈義町は、少子化対策の「奇跡のまち」として有名です。

子育て世帯への経済的な支援策は、高校生への就学支援金や小中学校の教材費無料化など、たいへん充実しています。少子化対策は、高齢者にとっても住みやすい町をつくることにつながるという認識が、町民の間に共有されています。町職員からは「どこの町でも取り組みそうな施策ばかり」と説明がありました。

町は平成24年に「子育て応援宣言」、令和5年に「こどもまんなか応援サポーター宣言」を出しました。高い合計特殊出生率の鍵は「安心感」にあります。奈義町の子育て世帯の約半数は、子どもが3人以上の多子世帯。子育て世代が気軽に集える「なぎチャイルドホーム」には子育てアドバイザーが常駐し、子育てを町民同士で支え合う環境が整っています。

特色ある教育も魅力のひとつです。こども園から中学校までの全学年にALTを1人ずつ常駐させ、英語によるコミュニケーション力の向上に取り組んでいます。



なぎチャイルドホーム

美郷町議会議員研修会

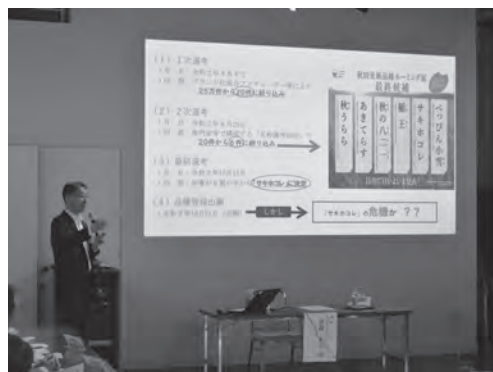
令和6年7月12日

「農業あれこれ」、サキホコレの危機か？

平成21・22年度に、美郷町農政課参事として秋田県より派遣された経験のある（現）農林水産部長の齋藤正和氏より講話をいただきました。

演題は「農業あれこれ」で、印象的だったのはサキホコレの品種登録の出来事です。特許庁からは「登録名は名詞が基本、サキホコレは動詞」との指摘で大慌て、サキホコレの危機か？

最終的にはカタカナ名ということで動詞外と判断され、ホッとした心境が語られました。



シリーズ
ムチュエント
美郷中
Vol.20

女子卓球部

技術の向上と、
心身の成長！



私たち女子卓球部は、3年生13人、2年生1人、1年生1人の計15人で6月まで活動していました。練習で特に心がけていたことは、常に試合のときのような緊張感を保つことです。部員のほとんどが未経験でしたが、互いにアドバイスをし、技術の向上とともに、心身の成長につながりました。個性豊かな仲間たちと練習が出来たことは貴重な思い出です。惜しくも夏の総体で5連覇という目標を達成することはできませんでしたが、後輩には自分の決めた目標に向かい日々の練習に励んでもらいたいです。健闘を祈っています。がんばれ！

主将 栗林 香乃

今号の
撮影者

(六郷高校写真部)



左：2年生 須田 百菜さん

全員の顔を一枚の写真に収めることが難しかったのですが、最後には自然な表情を撮ることができました。撮影に協力いただき、ありがとうございました。

右：2年生 渋谷 大雅さん

女子卓球部の皆さんの素敵な笑顔をとることができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

議会の動き

26日	24日	19日	4日	9月3日	30日	27日	20日	19日	8月5日	19日	7月12日
議会広報常任委員会	第7回臨時会	議会広報常任委員会	総務産業常任委員会 教育民生常任委員会	第6回定例会（13日）	議会連絡会 議会活性化検討会	議会運営委員会	総務産業常任委員会 所管事務調査	議会運営委員会	教育民生常任委員会 行政視察研修（7日）	秋田県町村議会広報研修会 秋田県町村議会議員研修会	第5回臨時会 議会活性化検討会 美郷町議会議員研修会

採 決 結 果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	熊谷 隆一	村田 薫	鈴木 正洋	藤原 政春	高山 茂雄	高橋 邦武	深澤 均	伊藤 福章	高橋 正和	泉 美和子	深沢 義一	熊谷 良夫	澁谷 俊二	長谷川 幸子	鈴木 良勝	森元 淑雄	
◎令和6年第6回議会定例会（9/13）																	
議案第64号 美郷町国民健康保険条例の一部改正について																	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号 令和5年度美郷町一般会計決算認定について																	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	認定
陳情第35号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情																	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	採択

クイズ

問 美郷町は〇〇周年

〇の中だけお答えください

応募方法

必要事項（氏名、住所、年齢、クイズの答え、アンケート）を記入のうえ、はがき又はメールにてご応募ください。正解者の中から、抽選で5人の方に粗品を差し上げます。（18歳以下優先枠あり）

また、議会へのご意見をお待ちしております。

応募の注意

☆応募専用はがき：85円切手を貼ってください。

☆官製はがき：アンケートも忘れずにご記入ください。

☆応募はお一人様1通とさせていただきます。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

議会事務局メールアドレス

gikai@town.misato.akita.jp

締切日

令和6年10月31日（当日消印有効）

クイズの答え

問

美郷町は〇〇周年

議会に関するアンケート

問1 議会を傍聴したことがありますか？

- ① ある ② ない

どちらかに○印をお願いします。

問2 誌面の中で興味がある記事は何ですか？

感想等自由記載欄

みさと議会だより 第80号

正解と当選者



クイズ

7月1日から施行している条例は、
美郷町議会〇〇条例

▶【正解】基本

クイズ当選者

多数のご応募、議会や議会だよりに対するご意見・ご感想ありがとうございました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

佐藤 楓 様 高田 輝 様
照井 龍子 様 藤田 昭子 様
高橋 国男 様

●次回定例会は、12月上旬を予定しています。

日程は11月15日発行の「議会だよりお知らせ版」をご覧ください。

キラリ 美郷

VOL.76

～編み物クラブ～



自分で編んだ服を着てニッコリ！
前列中央が戸沢洋子先生、後列右が下村豊子代表

一緒に編んでみませんか

開催日：毎週土曜日

時 間：午前9時30分から午後4時30分まで

場 所：住民活動センター

問い合わせ先 住民活動センター
(0187-84-4922)



編み物クラブの皆さんにお話をうかがいました。

このクラブが発足して23年ほどになります。講師の戸沢洋子先生はその当時から教えてくださっています。メンバーは冬の間だけ参加する方々を含め10数人です。

自分の作りたいものを決め、編み方の分からないところを戸沢先生に教えてもらいながら作品に仕上げていきます。マスクのような小物からベスト、カーディガン、アンサンブルなどさまざまです。

今年の5月に入った人は、編み

美郷町土崎字上野乙 170-10
美郷町議会事務局

議会だより係

ふりがな 氏 名		年齢	歳
住 所	〒		
電話番号			

